

- 問1 現代の経済における資金調達の仕組みにおいて、「直接金融」の説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|-------------------------------------|
| 1. 企業が証券市場を通じて株式や債券を発行し、投資家から資金を調達する仕組み | 2. 銀行などの金融機関が預金者から集めた資金を、企業や個人に貸し出す仕組み | 3. 家計から出された預金が、金融機関の貸し出しを通じて社会全体の通貨量を増やす仕組み | 4. 日本銀行が市中の資金量を調節するために、国債などを売買する仕組み |
|---|--|---|-------------------------------------|
- 問2 日本銀行が、景気の過熱や物価の急激な上昇を抑えるために行う「公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行から国債を買い取り、市場に多くの代金を支払うことで、通貨の量を増やし景気を刺激する。 | 2. 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場に流通する通貨の量を減らすことで、景気を抑制する。 | 3. 日本銀行が市中銀行に対して預金準備率を引き下げよう命じ、企業への貸し出しを容易にさせる。 | 4. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業の予算を増やすことで、市場の通貨の量を調整する。 |
|--|--|---|--|
- 問3 銀行が家計や企業に資金を貸し出す仕組みにおいて、利子や金利が果たす役割の説明として正しいものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 利子の額は借りた期間に関わらず一定であり、元金の額のみによって決定される。 | 2. 景気が悪化した際には、金利を上げることで利子の支払いを増やし、世の中に出回るお金の量を増やす。 | 3. 金利が上昇すると、利子の支払い負担が大きくなるため、企業は資金の借り入れを控える傾向がある。 | 4. 利子は銀行が預金者に支払うものであり、企業が銀行に支払うものはすべて元金と呼ばれる。 |
|--|--|---|---|
- 問4 現代の経済における資金の供給ルートについて、家計が株式や社債を購入することで、証券市場を介して直接企業に資金が流れる仕組みを「直接金融」と呼びます。この「直接金融」で用いられる具体的な手段の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------------|
| 1. 株式・社債 | 2. 税金・補助金 | 3. 保険料・年金 | 4. 普通預金・定期預金 |
|----------|-----------|-----------|--------------|
- 問5 景気が過熱し、物価が上がりすぎのおそれがある好況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調節するために行う操作とその仕組みについて、正しい説明はどれか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。 | 2. 政府が公共事業の支出を増やすことで、社会全体の需要を刺激し、景気をさらに活性化させる。 | 3. 一般の銀行から国債を買い取り、市場に資金を供給することで、通貨量を増加させる。 | 4. 所得税の税率を引き下げることで、個人の消費支出を増やし、企業の生産活動を促進する。 |
|---|--|--|--|
- 問6 日本の中央銀行である日本銀行の役割に関する説明として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2023年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 一般の銀行などの金融機関から預金を預かり、資金の貸出を行う。 | 2. 国の税金を直接徴収し、公共事業の予算支出をすべて取り仕切る。 | 3. 一般の個人や企業からの預金を受け入れ、個人への資金貸出を行う。 | 4. 世の中に流通している通貨の約9割を占める現金を直接発給・管理する。 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
- 問7 ある特産品を生産する農家が、事業の運営資金を確保するために金融機関から資金を調達する場合を想定します。この際、借りた金額や借りている期間に応じて、元本とは別に支払わなければならない費用のことを何といいますか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 配当 | 2. 株式 | 3. 利子 | 4. 証券 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 不況の際、日本銀行が国債の買入れを行う理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 政府に代わって減税を実施し、個人の消費支出を直接増やすため。 | 2. 市中から通貨を回収して金利を上げ、行き過ぎた景気の加熱を抑えるため。 | 3. 政府の税収を増加させ、公共事業に使うための資金を直接調達するため。 | 4. 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。 |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問9 日本の中央銀行である日本銀行は、国内で唯一「日本銀行券」という紙幣を発行する権限を持っています。このような日本銀行の役割を何と呼びますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 市中銀行 | 2. 銀行の銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 発券銀行 |
|---------|----------|----------|---------|
- 問10 好景気が続き、物価が急激に上昇する懸念がある際に日本銀行が行う「売りオペレーション」が、景気を抑制する仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本銀行が国債を売ることで、市中銀行の資金が増えて金利が下がり、企業がより多くの設備投資を行えるようになる。 | 2. 日本銀行が国債を売ることで、市中銀行の資金が減って企業などへの貸し出しが抑えられ、消費や投資の行き過ぎが改善される。 | 3. 日本銀行が国債を買い取ることで、市場に大量の現金が供給され、通貨の価値が上がることで物価の安定が図られる。 | 4. 日本銀行が国債を買い取ることで、銀行の資金調達が困難になり、利子が増えることで家計の貯蓄が促進される。 |
|---|---|--|--|
- 問11 日本銀行が「政府の銀行」としての役割を果たすために行っている業務として、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 政府が運営する独立行政法人に対し、低利で運営資金を貸し付ける業務を独占的に行う。 | 2. 国債の売買を通じて市場の通貨量を調節し、物価の安定を図るための政策を決定する。 | 3. 不況の際、国に代わって新しい公共事業を計画し、民間の建設会社に直接発注する。 | 4. 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。 |
|---|--|---|---|
- 問12 日本の中央銀行である日本銀行には、一般の民間銀行にはない特有の役割が3つあります。その役割の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日本銀行券を発行する「発券銀行」、公務員の給料を直接振り込む「給与の銀行」、一般の個人や企業が自由に預金できる「国民の銀行」 | 2. 外国通貨を発行する「国際銀行」、国会議員の政治資金を専門に管理する「政治の銀行」、民間銀行の全ての経営方針を決定する「統括の銀行」 | 3. 国債の発行を独占する「国債の銀行」、海外の投資家へ直接融資を行う「投資の銀行」、地方自治体の予算編成を行う「地方の銀行」 | 4. 日本銀行券を発行する「発券銀行」、国庫金の管理などを行う「政府の銀行」、民間銀行に対し資金の貸出や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」 |
|---|--|---|---|
- 問13 企業が新しい工場を建設するための資金を調達する際、銀行などの金融機関から借り入れるのではなく、自ら証券市場を通じて株式や社債を発行し、投資家から直接資金を集める仕組みを何と呼びますか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 公定歩合 | 3. 消費者金融 | 4. 間接金融 |
|---------|---------|----------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 企業が証券市場を通じて株式や債券を発行し、投資家から資金を調達する仕組み	直接金融は、資金の出し手（投資家）と借り手（企業など）が、証券市場を介して直接結びつくのが特徴です。一方、銀行が間に入って預金者の資金を貸し出す形態は「間接金融」と呼ばれ、日本の資金調達において長く中心的な役割を果たしてきました。
問2	答え 2 日本銀行が保有する国債を市中銀行に売り、市場に流通する通貨の量を減らすことで、景気を抑制する。	景気が過熱している（好況）ときは、市場に流通する通貨（お金）の量を減らすことで、経済活動を落ち着かせる必要があります。日本銀行が持っている国債を民間の銀行（市中銀行）に売ると、その代金として市中銀行から日本銀行へお金が流れます。これにより、世の中に出回る通貨の総量が減り、企業や個人への貸し出しが抑制されるため、景気を抑える効果があります。これを「売りオペレーション」と呼びます。
問3	答え 3 金利が上昇すると、利子の支払い負担が大きくなるため、企業は資金の借入を控える傾向がある。	利子は資金を借りるための「コスト」としての性質を持ちます。金利が上がれば、元金に上乗せして支払う利子の額が増えるため、企業は投資のための借入を慎重に行うようになります。このように、金利の上下を通じて社会全体の資金の需要と供給が調整されています。また、利子は通常、元金額、金利、そして借りている期間の3つの要素によって計算されます。
問4	答え 1 株式・社債	直接金融は、企業が発行する有価証券を家計などが直接買い取ることで成立します。代表的なものに、出資の証券である「株式」や、企業が借入のために発行する債券である「社債」があります。一方で、預金を通じて銀行が企業に貸し付ける形態は間接金融に分類されます。
問5	答え 1 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。	景気が過熱している時期には、日本銀行は保有する国債を一般の銀行に売却します。これにより、民間銀行が支払いに充てた資金が日本銀行へ回収されるため、世の中に出回る通貨量が減少し、過度なインフレや景気の過熱を抑える働きが生じます。対照的に、国債を買い取る操作は不況期に行われるものです。また、公共事業の増減や減税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問6	答え 1 一般の銀行などの金融機関から預金を預かり、資金の貸出を行う。	日本銀行は「銀行の銀行」としての役割を持っており、一般の個人や企業から預金を預かることはありません。民間金融機関から預金を預かったり、資金の貸出を行ったりしています。
問7	答え 3 利子	金融機関から借入金を得る際、その資金を利用する対価として支払う手数料を利子（または利息）と呼びます。利子は一般的に、借りる金額（元本）が多ければ多いほど、また借りる期間が長ければ長いほど、支払う総額が大きくなる仕組みになっています。
問8	答え 4 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。	不況時に日本銀行が国債を買い入れると、代金が市中の金融機関に支払われることで通貨量が増加します。これにより金利が低下し、企業や個人が資金を借りやすくなるため、投資や消費が促されて景気が回復へと向かいます。
問9	答え 4 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「中央銀行」であり、民間の銀行にはない特別な役割を持っています。その中でも、私たちが普段使用しているお札（日本銀行券）を独占的に発行する役割を「発券銀行」といいます。これにより、通貨の信頼性を維持し、世の中に流通するお金の量を適切にコントロールすることが可能になります。他の選択肢である「政府の銀行」は国庫金の管理、「銀行の銀行」は民間金融機関との取引を指す役割です。
問10	答え 2 日本銀行が国債を売ることで、市中銀行の資金が減って企業などへの貸し出しが抑えられ、消費や投資の行き過ぎが改善される。	日本銀行が国債を売却すると、代金を支払った市中銀行の資金（手元資金）が減少します。銀行の資金が少なくなると、銀行は企業や個人へお金を貸し出す際の金利を上げたり、貸し出しを手控えたりするようになります。その結果、世の中の通貨量が減り、過剰な設備投資や消費が抑えられることで、景気を安定させる方向に働きます。これが好景気時の景気抑制（金融引き締め）のプロセスです。
問11	答え 4 国の税金を受け入れたり、公共事業費などの公的な資金の支払いを管理したりする。	日本銀行は国の預金口座を管理しており、税金の受け入れや、年金・公共事業費の支払いといった国の会計事務を代行しています。この、政府の資金（公金）を扱う役割を「政府の銀行」と呼びます。なお、国債の売買を通じて通貨量を調節するのは「金融政策」としての側面です。
問12	答え 4 日本銀行券を発行する「発券銀行」、国庫金の管理などを行う「政府の銀行」、民間銀行に対し資金の貸出や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」	日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」です。また、国の税金の受け入れや国債に関する事務を行う「政府の銀行」としての役割、そして一般の個人ではなく民間銀行などの金融機関と取引を行う「銀行の銀行」としての役割を担っています。一般の市民が口座を作ったり、公務員の給与を直接支払ったりすることはありません。
問13	答え 1 直接金融	企業が金融機関の仲介を経ずに、市場から直接資金を調達する方法を直接金融と言います。これに対し、銀行が預金者から集めた資金を企業に貸し出す仕組みを間接金融と呼びます。直接金融では、企業は株式を発行して出資を募ったり、社債を発行して借金をしたりすることで、広く一般の投資家から資金を確保します。